

浜松市

音・かおり・光 資源百選



音・かおり・光



浜松市音・かおり・光環境創造条例

はじめに

そよ風やせせらぎの音といった自然の調べは、私たちの心を和ませ、草花や木々のかおりからは、日本の豊かな四季の移り変わりを感じることができます。また、星空の輝きや夕日の光は、自然の偉大さや大切さを私たちに教えてくれます。そして、これらの感覚的な要因は、私たちをリラックスさせてくれるばかりでなく、心にゆとりを与え、疲労の軽減などのさまざまな効果をもたらしています。

しかし、都市化や近代化が進み、利便性や物質的な満足を追求するあまり、「潤い」や「安らぎ」を与えてくれるものが少なくなりつつあります。一方、住民の環境問題に対する関心の高まりとともに、音（聴覚）、かおり（嗅覚）、光（視覚）などの五感に係る感覚的要因を心豊かで健康な日常生活を送るために利用したり、都市の彩りとしてまちづくりに活用する取り組みが全国各地で行なわれるようになりました。

本市においても、平成13年度から「冬の蛍フェスタ」を開催し、冬の風物詩として定着しています。また、環境省からは、平成8年に「遠州灘の海鳴・波小僧」が「残したい“日本の音風景100選”」に、そして、平成13年には「浜松のうなぎ」が「かおり風景100選」にそれぞれ認定されています。

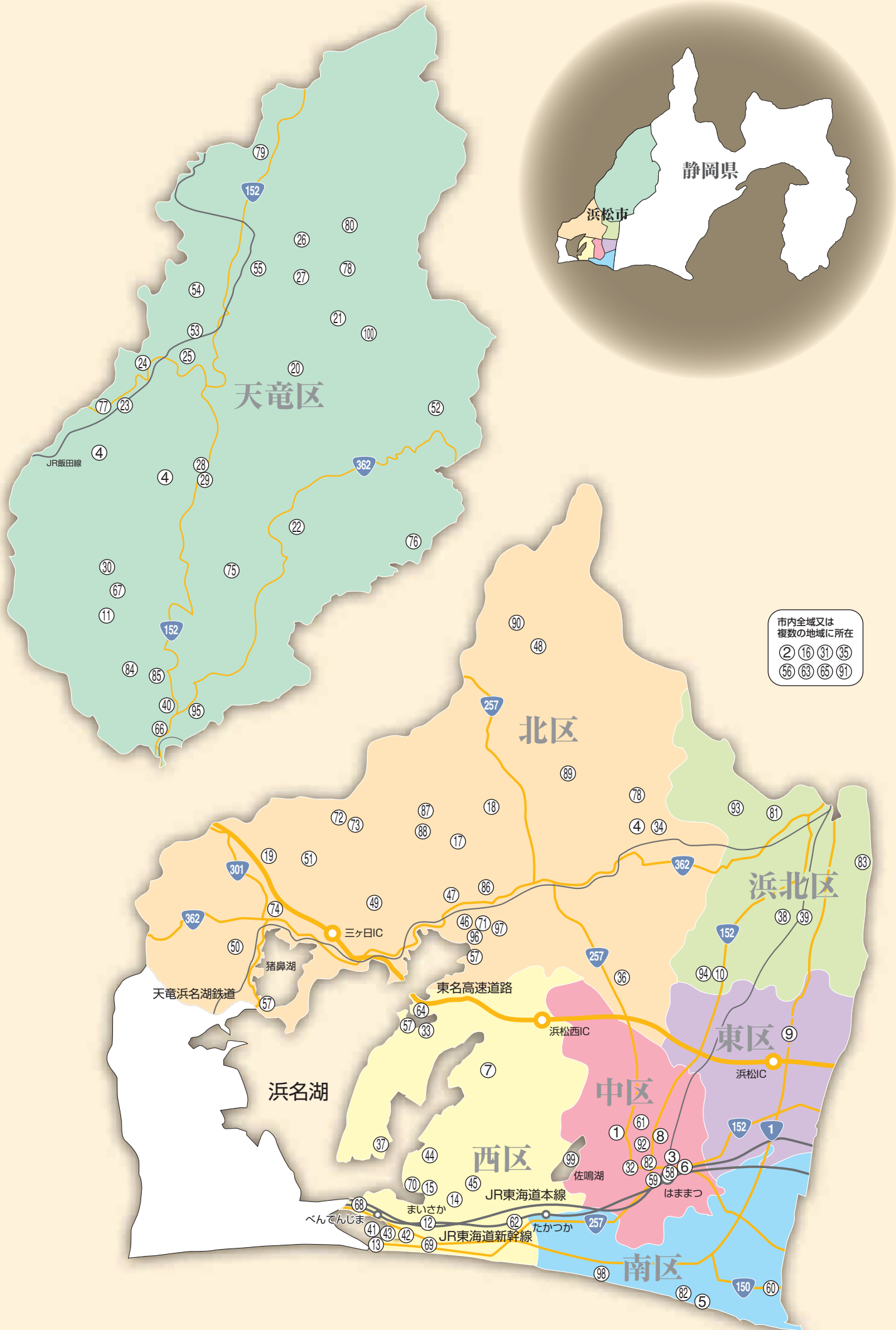
このような背景から、本市では、人々の心へ快適さや豊かさを、また、街へ潤いや彩りを与える音、かおり、光を環境資源としてとらえ、それらを保全し快適な生活環境を創造することを目的として、平成16年10月1日に「浜松市音・かおり・光環境創造条例」を施行しました。そして、市町村合併に伴う条例の全市域への適用により、身近な環境資源の中で次代に残したい、あるいは、地域の誇りとしている音、かおり、光資源を新たに合併した地域から公募するとともに、合併前の資源30選の見直しとあわせ「浜松市音・かおり・光資源百選」として選定しました。

このガイドブックは、自然のみならず、伝統文化や産業なども選定した「浜松市音・かおり・光資源百選」を紹介するために作成しました。多くの住民の皆様が本市に残っている貴重な音・かおり・光を知ることによって、それらに対して関心を持ち、環境資源を守り育てる行動につながるきっかけのひとつになればと願っています。



目次

音	① 遠州大念仏 1	光	⑤⑥ 新茶のかおり 15			
	② 天竜川のせせらぎ 1		⑤⑦ 浜名湖の湖岸から望む夕日(村櫛、舘山寺、細江「みをつくし」、三ヶ日「瀬戸のつり橋」) 16			
	③ JR浜松駅前のコンサート 1		⑤⑧ 夜空に浮かぶアクトシティ 16			
	④ 滝の水音(滝沢「仙巖(せんがん)の滝」、佐久間「大下(おおした)滝」、龍山「不動(ふどう)の滝」) ... 2		⑤⑨ 街角を照らす冬の蛍 16			
	⑤ 馬込川の水鳥の鳴き声と水音 2		⑥⑩ 天文台から見る星 17			
	⑥ 楽器博物館のピアノの音 2		⑥⑪ 光産業の礎「イ」の石碑 17			
	⑦ 森の水車 2		⑥⑫ 篠原町の火渡り 17			
	⑧ 楽器工場のミュージックサイレン 3		⑥⑬ 秋葉灯籠(あきはどうろう) 17			
	⑨ 笠井町のだるま市の賑わい 3		⑥⑭ 浜名湖 湖面の輝き(舘山寺大草山、姫街道いなさ峠) ... 18			
	⑩ 浜北万葉まつり 3		⑥⑮ 水辺に映る蛍の光(天竜「蛍の里」、細江「天池(あまいけ)自然公園」、春野「藤ノ瀬ホテル公園」、龍山「ふるさと村」、引佐町田沢) 18			
	⑪ 懐山(ふところやま)のおくない 3		⑥⑯ 鳥羽山公園の桜 18			
	⑫ 舞阪太鼓祭り 4		⑥⑰ 大栗安(おおぐりやす)の棚田 18			
	⑬ 今切口に於けるシラス漁に出漁する漁船団の音 ... 4		⑥⑱ 弁天島浮見堂(うきみどう) 19			
	⑭ 息(おき)神社祭典の練り太鼓の音と提灯の明かり ... 4		⑥⑲ 舞阪灯台のあかり 19			
	⑮ 亀崎ファミリーランド 4		⑦① たきや船の松明(たいまつ)のあかり 19			
	⑯ 姫街道 5		⑦② 姫様道中 19			
	⑰ 龍潭寺(りょうたんじ)の鶯張りの廊下 5		⑦③ 方広寺(ほうこうじ)参道の木漏れ日 20			
	⑱ いなさん人形劇まつり 5		⑦④ 奥山公園の夜桜 20			
	⑲ 大福寺(だいふくじ)時計台 5		⑦⑤ 三ヶ日町内のイルミネーション 20			
	⑳ 明神峡(みょうじんきょう)の渓谷と紅葉 6		⑦⑥ 秋葉の火祭り 20			
	㉑ 勝坂神楽(かささかかぐら)の里 6		⑦⑦ 春埜(はるの)杉 21			
	㉒ 気田(けた)川のせせらぎとセミや小鳥の鳴き声 ... 6		⑦⑧ 浦川歌舞伎 21			
	㉓ 佐久間の川合花の舞 6		⑦⑨ 満天の星空(天竜の森公園、水窪カモシカと森の体験館) ... 21			
	㉔ 秋の祭典をリードする獅子舞とお囃子の音 7		⑦⑩ 西浦(にしうれ)田楽 御船渡しの火 21			
	㉕ 天竜の森に響くウィーンの調べと飛龍(ひりゅう)太鼓の音 ... 7		⑧① 光に映える燃え立つ紅葉(山住(やまずみ)神社~水窪ダム) ... 22			
	㉖ 水窪川とそこに生息するカジカガエル 7		音・光			
	㉗ 切通し峡と布滝 7			⑧② 岩水寺(がんすいじ)の鐘の音、桜のかおり 22		
	㉘ 瀬尻(せじり)ぶか風の発するうなり 8			音・光		
	㉙ 龍山森林文化会館のパイプオルガンの音色 8				⑧③ 浜松まつり/激練り、凧揚げの音と御殿屋台の光 ... 23	
	⑩① 白倉峡(しらくらきょう)のせせらぎ 8				⑧④ 遠州はまきた飛龍(ひりゅう)まつり 23	
	かおり				⑩② 浜松のうなぎ 9	⑧⑤ 清流 阿多古(あたご)川 23
⑩③ 彼岸の線香のかおり(鴨江) 9		⑧⑥ 遠州天竜舟下り 24				
⑩④ フラワーパークの花 9		⑧⑦ 祇園祭り/細江の夏の風物詩 24				
⑩⑤ フルーツパークの果物 10		⑧⑧ 竜ヶ岩洞(りゅうがしどう)の黄金の大滝 24				
⑩⑥ 凧作りの竹のかおり 10		⑧⑨ 横尾歌舞伎 24				
⑩⑦ 都田道のモクレン 10		⑧⑩ 川名ひよんどり 25				
⑩⑧ 庄内半島の花とガーデンパーク 10		⑧⑪ 寺野ひよんどり 25				
⑩⑨ J A とびあ浜松浜北営農緑花木センター 11		⑧⑫ 花火の音と光(弁天島、舘山寺、鹿島、三ヶ日、佐久間) ... 25				
⑩⑩ 北浜の大カヤノキ 11		音・光				
⑩⑪ 二俣(ふたまた)城址 11					⑧⑬ 浜松城公園/桜、松韻亭(しょういんてい)の抹茶のかおりと浜松城のライトアップ 26	
⑩⑫ 舞阪混ぜのりのかおり 11					⑧⑭ 県立森林公園 26	
⑩⑬ 舞坂宿脇本陣 12					⑧⑮ 浜北万葉の森公園 26	
⑩⑭ 釜揚げしらすのかおり 12					⑧⑯ 秋野不矩(あきのふく)美術館 27	
⑩⑮ 六間川(ろっけんがわ)の早咲き桜 12					⑧⑰ 都田川堤防の桜並木 27	
⑩⑯ 中村家住宅 12					⑧⑱ 細江中川地域の田園風景 27	
⑩⑰ 気賀関所(きがせきしよ) 13					音・かおり	
⑩⑱ 長楽寺の満天星(ドウダンツツジ)の庭園と梅のトンネル ... 13						⑧⑲ 遠州灘/海鳴り(波小僧)、ウミガメのはう音、潮のかおり、朝日、夕日、水面の輝き 28
⑩⑲ 渋川つつじ 13						⑧⑳ 佐鳴湖/葦(よし)がこすれる音、鳥の声、花、木のかおり、夕日、水面の輝き 28
⑩⑲ みかんの花 13						⑧㉑ 天竜美林 28
⑩㉑ マンサクと三ヶ日桜の咲く里 乎那(おな)の峯 ... 14						
⑩㉑ 三ヶ日人只木(ただき)遺跡 14						
⑩㉑ 京丸(きょうまる)のツツジの群落 14						
⑩㉑ 春は新緑、夏は鮎、秋はキノコ、冬は蕎麦のかおり ... 14						
⑩㉑ 佐久間民俗文化伝承館 15						
⑩㉑ 高根城 15						



市内全域又は
複数の地域に所在

②	⑬	⑳	㉓
⑤⑥	⑥③	⑥⑤	⑨①



1 遠州大念仏

地域：中区・浜北区



浜松市の指定無形民俗文化財である遠州大念仏は、浜北地域を中心として遠州地方で傳承されている郷土芸能です。起源は、元龜3年(1572年)に徳川家康と武田信玄が戦い、家康の生涯最大の負け戦となった「三方ヶ原の合戦」における犀ヶ崖(さいががけ)での死者を弔うために始まったとされています。犀ヶ崖資料館など市内各地で広く行なわれ、浜松の盆を彩る風景として、人々に親しまれています。

時期：7月～8月

問い合わせ先：犀ヶ崖資料館 ☎053-472-8383

2 天竜川のせせらぎ

地域：東区・南区・天竜区



天竜川は諏訪湖に端を発し、伊那谷を南に下り、奥三河、北遠の山間部を通り遠州平野に至り、太平洋に注いでいます。浜松市は、天竜川の最下流部に位置し、広い河川敷を散策すると、緩やかに流れるせせらぎの音が耳に心地よく響きます。

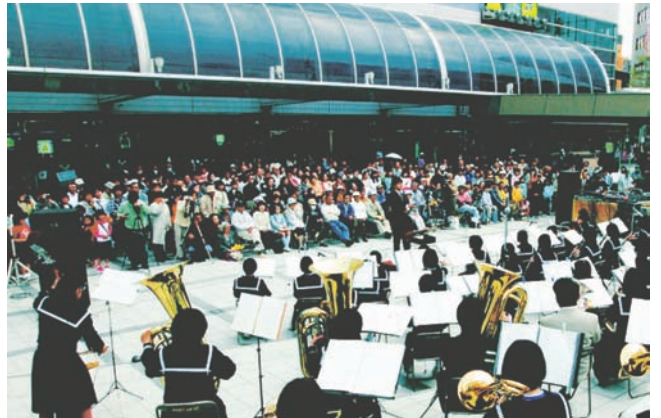
特に、佐久間などの北遠地域では、天竜川のせせらぎの音が風によって、川を訪れる人々をやさしく包み、心なませてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

3 JR浜松駅前のコンサート

地域：中区



世界有数の楽器産業のまちである浜松市は「音楽のまちづくり」を推進し、市民が気軽に楽しめる街かどコンサートから、国際ピアノコンクールの開催まで、多くの音楽事業が実施されています。特に浜松市の玄関口となるJR浜松駅の周辺では、「プロムナードコンサート」など、さまざまな音楽イベントが開かれ、街中に常に音楽があふれ、道行く人を楽しませてくれます。

時期：一年をとおして

(プロムナードコンサートは4月から11月の土曜日(8月を除く))

問い合わせ先：浜松市文化振興財団 ☎053-451-1151

4 滝の水音

(滝沢「仙巖(せんがん)の滝」、
佐久間「大下(おおした)滝」、
龍山「不動(ふどう)の滝」)

地域：北区・
天竜区



滝沢「仙巖の滝」

都田川の支流の源泉部近くにある「仙巖(せんがん)の滝」は、巨石・奇石をぬって流れ、心地よい音を響かせています。佐久間の「大下(おおした)滝」は、標高千メートル近い白倉山系から湧き出す水を集め、数十メートルもの落差のある滝壺へと流れ落ちます。龍山の「不動(ふどう)の滝」は、その周辺が公園として整備され、滝をゆっくりと鑑賞しながら雄大な自然を十分に満喫できます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：北区・産業振興課 ☎053-523-1113
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001
龍山地域自治センター地域振興課 ☎053-966-2111

5 馬込川の水鳥の鳴き声と水音

地域：南区



馬込川の河口付近では、川をさかのぼる「ザザー」という波の音が特徴的です。また、海岸部ではカモメが舞い、下流部は「馬込川サンクチュアリ」として、ツバメや水鳥など野鳥たちの貴重な棲(す)みかとなっています。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

6 楽器博物館のピアノの音

地域：中区



日本で初めての、そして唯一の公立楽器博物館として、19世紀ヨーロッパの貴重なピアノやホルンをはじめ、アジア、アフリカの楽器、日本の琴や尺八など、世界の楽器1,200点あまりを展示しています。



7 森の水車

地域：西区



緑豊かな田園の中、水車がゆったりと回る…。そんな情景を名曲「森の水車」で美しく表現した作詞家、清水みのる氏は、西区伊左地町出身です。伊左地町の「森の水車公園」には水車小屋が復元され、昔と変わらぬ水車の音を「コットン、コットン」と響かせています。木々に囲まれて森の水車の音を聞きながら散策してはいかがでしょうか。

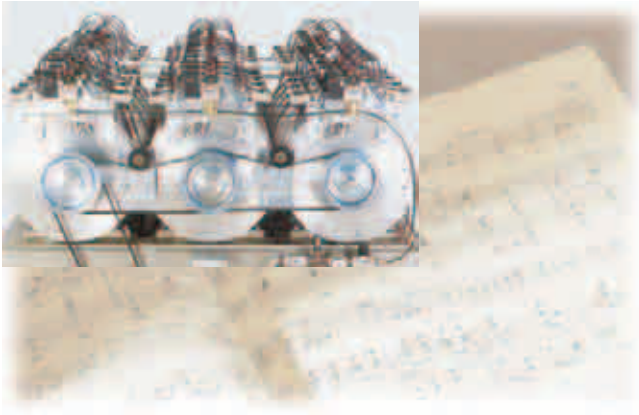
【休館日】第2・第4水曜(祝日の場合は翌日、8月は無休)、年末年始等

問い合わせ先：浜松市楽器博物館 ☎053-451-1128

時期：一年をとおして

問い合わせ先：水車会(伊佐見小学校内) ☎053-486-0007

8 楽器工場のミュージックサイレン 地域：中区



ミュージックサイレンは、ヤマハ(株)本社工場に1957年に設置されました。野バラや菩提樹などの曲目が、8,10,12,13,15,17時に流れ、付近の市民の皆さんに時刻を音楽で知らせています。毎日忙しく過ごす皆さんも時には手を休めて、ミュージックサイレンの奏でる音楽に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：ヤマハ(株) ☎053-460-2071

9 笠井町のだるま市の賑わい 地域：東区



笠井観音の名で親しまれる観光山福来寺(ふくらいじ)で、毎年1月10日に行なわれる大祭は「笠井のだるま市」としてよく知られています。福だるまをはじめ、縁日屋台がずらりと軒を連ねる「だるま市」は、観音様にお参りする人々とだるまを売る掛け声でごった返し、大賑わいとなります。

時期：1月10日

問い合わせ先：法光院(ほうこういん) ☎053-434-0739

10 浜北万葉まつり 地域：浜北区



浜北万葉まつりは、毎年10月に行なわれ、曲水の池を舞台に、万葉びとが雅やかに催した遊びである「曲水(きょくすい)の宴(えん)」で自作の歌を詠み、奈良時代万葉びとの雄姿が偲ばれます。

また、万葉の森公園では、一年をとおして万葉食や草木染めなどが体験できます。

時期：10月

問い合わせ先：浜北万葉まつり実行委員会 ☎053-586-6201

11 懐山(ふところやま)のおくない 地域：天竜区



毎年1月3日に懐山の泰蔵院(たいぞういん)で行なわれる民俗芸能で、その年の人々の安全、五穀豊穡、子孫繁栄などを祈る「鬼の舞」「駒の舞」などの演目が上演されます。しずかな山あいの院で催される、鈴や太鼓の音色にとけこんだ荘厳な舞いは、いにしえの生活文化・民族文化を心に刻み込みます。

時期：1月3日

問い合わせ先：天竜区・区振興課 ☎053-922-3300

12 舞阪大太鼓祭り

地域：西区



豊漁と海上安全を祈願する岐佐(きさ)神社の祭礼で、旧暦の9月14日と15日に開催され、大太鼓、おみこし、屋台が町内を練り歩きます。太鼓は最大直径2.5mのものもあり、祭りの終盤に岐佐神社の28段の急な石段を引き上げ、境内で一斉に打ち鳴らす音は一里四方に響き渡ります。

時期：旧暦の9月14日～15日

問い合わせ先：

舞阪地域自治センター地域振興課 ☎053-592-2111

13 今切口に於けるシラス漁に出漁する漁船団の音

地域：西区



朝もやの中、シラス漁に出漁するため何十隻もの船が競い合って出漁する時の音は圧巻です。

シラス漁の最盛期は、5～6月と10～11月です。



時期：漁期3月中旬～翌年1月中旬

問い合わせ先：浜名漁業協同組合 ☎053-592-2911

14 息(おき)神社祭典の練り太鼓の音と提灯の明かり

地域：西区



雄踏地域に伝わる祭典で、毎年10月10日に近い土曜日と日曜日に息神社の神社境内に中老の大太鼓8台と、館車と呼ばれる屋台6台が集合し、町内を練り歩きます。一番華やかな屋台は、金館車と呼ばれ、彫刻は江戸時代の後期のものとされています。館車の提灯のともりの美しさと大太鼓の音の迫力は、歴史ある祭典の壮大さを実感できます。

時期：10月中旬

問い合わせ先：

雄踏地域自治センター地域振興課 ☎053-597-1200

15 亀崎ファミリーランド

地域：西区



雄踏地域西端の浜名湖に接し、恵まれた自然景勝の地にあるこの公園には、プールやテニスコートの他、ソフトボール場、多目的スポーツ広場、芝生公園があり、一年をとおして利用客の楽しい歓声で賑わっています。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：雄踏総合公園 ☎053-596-1894

16 姫街道

地域：東区・北区



東海道の裏街道として豊川市御油(ごゆ)より磐田市見付(みつけ)までの間、お姫様が江戸に上がるために使われた道として伝えられています。自然に囲まれた姫街道の石畳を散策すると、石畳を歩く音、踏みしめる枯葉の音、澄みきった小鳥のさえずりが響きわたり活力がわいてきます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

17 龍潭寺(りょうたんじ)の鶯張りの廊下

地域：北区



天平5年(733年)、行基(ぎょうき)が開山した古刹。本堂の「鶯張り」の廊下は、歩くとウグイスの鳴き声のように聞こえ、小堀遠州(こぼりえんしゅう)作と伝えられる庭園と見事に調和しています。庭園をはじめ、左甚五郎(ひだりじんごろう)作の龍の彫刻など、数々の文化財を保有しています。

【休館日】 8月15日、12月22日～27日

問い合わせ先：龍潭寺(りょうたんじ) ☎053-542-0480

18 いなさ人形劇まつり

地域：北区



全国から30以上のプロ・アマ劇団が集まる全国有数の人形劇の祭典。毎年11月開催の祭り期間中は、劇団の台詞や音響に加え、観劇する人々の歓声が会場に溢れます。



時期：11月下旬

問い合わせ先：いなさ人形劇まつり実行委員会 ☎053-542-1111

19 大福寺(だいふくじ)時計台

地域：北区



大福寺は貞観17年(875年)に創建された古刹で、この寺が起源という名物の浜名納豆は、日本の納豆の元祖といわれています。時計台は、昭和5年1月に道路横に建立され、通り過ぎる人々に時を知らせています。時計台には、人は一生懸命働くことが書かれています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：大福寺(だいふくじ) ☎053-525-0278

20 明神峡(みょうじんきょう)の渓谷と紅葉

地域：天竜区



気田(けた)川の上流部に6kmほど続く美しい渓谷で、激流に洗われた岩肌や巨岩に目を見張らされ、四季折々の美しい姿を見せてくれます。特に秋には、渓谷一帯がカエデやブナなどの紅葉で鮮やかに染まり、上流から下流への紅葉の色合いの変化も楽しめます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

21 勝坂神楽(かさかかぐら)の里

地域：天竜区



サワガニや水生昆虫が捕れる入地沢(いりちざわ)、クワガタやカブトムシに出会える森林、ハイキングコースなどがあり、どこか懐かしい景観に心が満たされます。また、毎年10月下旬には、400年の伝統を誇る地域色豊かな祭り「勝坂神楽」(五穀豊穰、子孫繁栄、武運長久(ぶうんちょうきゅう)などを祈願し、笛や太鼓の音にあわせた男子に限られた神楽舞)が行なわれます。

時期：4月下旬～11月の土曜、日曜、祝日

問い合わせ先：勝坂神楽の里 ☎053-989-1470

22 気田(けた)川のせせらぎとセミや小鳥の鳴き声

地域：天竜区



気田川のせせらぎや清らかな水の流れは、人々の心に潤いや安らぎを与えてくれます。夏場には、鮎釣りやカヌーをする人々が訪れ、セミや小鳥の鳴き声、川遊びをする子供たちの歓声は、アウトドアの楽しさと醍醐味を実感させます。自然が奏でる音にふれると都会の喧騒を忘れさせてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

23 佐久間の川合花の舞

地域：天竜区



鎌倉時代から伝わる湯立ての神楽の一種で、天竜川や三河地方に多く伝承されている県の指定無形民俗文化財です。真っ赤な装束で「まさかり」を持った「山見鬼(やまみおに)」や「櫛鬼(さかきおに)」などが勇壮に乱舞する姿は、見物客を魅了します。毎年、10月最終土曜日の夕方から未明にかけて佐久間町川合の八坂(やさか)神社で奉納されます。

時期：10月最終土曜日

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

24 秋の祭典をリードする獅子舞とお囃子の音

地域：天竜区



秋祭りの頃、佐久間地域のそこかしこから聞こえる獅子舞とお囃子のかけ声は、故郷の音として地域の人々に愛され、親しまれています。人情があふれ、訪れる人々の心を優しく包み込んでくれるこの佐久間の音は、都市との文化交流の要の役割を担っています。

時期：9月～10月

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

25 天竜の森に響くウィーンの調べと飛龍(ひりゅう)太鼓の音

地域：天竜区



ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団バストローンボーン奏者であるカール・ヤイトラー氏との交流により佐久間地域に根付いたウィーンの音楽と飛龍太鼓の音。中でも、10月の佐久間ダムまつりで行われる龍神の舞や飛龍太鼓の迫力には圧倒されます。音楽のまち浜松で佐久間が誇れる音です。

時期：一年をとおして

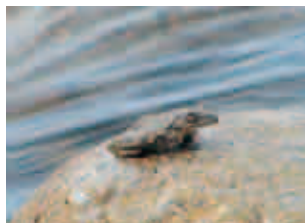
問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

26 水窪川とそこに生息するカジカガエル

地域：天竜区



豊かな清流に恵まれた、天竜川の支流で一級河川の水窪川。夏季には釣り人やヤマメのつかみ取りで賑わいます。また、その清流に棲むカジカガエルは、灰褐色の地味な体の色とは対照的に、大変美しい声で「ヒューヒューヒュー…」と鳴きます。



時期：6月～9月

問い合わせ先：
水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

27 切通し峡と布滝

地域：天竜区



河内(こうち)川の兩岸に切り立った巨石が屏風のように立ち並び、自然の脅威を感じます。耳をすませば、岩に碎ける清流の音が聞こえ、自然の恵みを味わい楽しむことができます。また、美しい女性的な布滝からは、岩肌を清らかに水が流れる清音が聞こえ、心洗われる思いです。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

28 瀬尻(せじり)ぶか凧の発するうなり

地域：天竜区



瀬尻「ぶか凧」(武家凧)は、鶴亀などの縁起物を角絵(すまえ)として描き、「くじら」と呼ばれる鳴り物をつけて揚げるのが特徴です。形は横長の長方形で、骨は竹を用い、どんなに大きくても4本だけでできています。ぶか凧が、天竜川から吹き上げる風を受けて「くじら」のブーンという“うなり”とともに勢よく大空に揚がる姿は、龍山地域の風物詩となっています。

時期：6月

問い合わせ先：

龍山地域自治センター地域振興課 ☎053-966-2111

29 龍山森林文化会館のパイプオルガンの音色

地域：天竜区



龍山町瀬尻(せじり)の龍山森林文化会館ホールにはドイツ製のパイプオルガンが設置されています。このオルガンは、誰でも利用することができます。天竜林業地域の真っ只中にあり、木の楽器の象徴ともいえるパイプオルガンは、多くの人に愛され、龍山地域が育んできた森林文化を奏でていきます。

【休館日】土曜、日曜、祝日(事前申込のある場合は開館)

問い合わせ先：龍山森林文化会館 ☎053-968-0331

30 白倉峽(しらくらきょう)のせせらぎ

地域：天竜区



白倉山を源に天竜川へ注ぐ清流に刻まれた渓谷は、若葉が萌える新緑からあでやかな紅葉へと、移りゆく季節と共にその姿を変えます。紅葉は11月中旬から下旬が見頃です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

龍山地域自治センター地域振興課 ☎053-966-2111





31 浜松のうなぎ

地域：市内全域



浜松は、うなぎ養殖発祥の地です。1890年代に服部倉次郎、中村源左衛門の二人により、日本初のうなぎ養殖事業が浜名湖で始まったといわれています。市内には多くのうなぎ料理店があり、のれんの向こうから漂う“うなぎを焼くかおり”は、浜松を象徴するかおりの一つであり、平成13年に環境省による「かおり風景100選」に選ばれました。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜名湖養魚漁業協同組合 ☎053-592-0123

32 彼岸の線香のかおり(鴨江)

地域：中区



鴨江観音として親しまれる甲江山鴨江寺(こうこうざんかもえじ)は、芋掘長者の頼みを受けた行基(ぎょうき)により奈良時代に創建された歴史ある名刹(めいさつ)です。彼岸の「お鴨江まいり」の賑わいと線香のかおりが、古風なたたずまいを見せる鴨江の街並みに漂います。

時期：3月・9月

問い合わせ先：鴨江寺(かもえじ) ☎053-454-5121

33 フラワーパークの花

地域：西区



総面積30万㎡、東京ドーム6個分の広大な敷地には、四季の花壇や、170品種を誇るローズガーデン、100万本のハナショウブ園、1万5千株の原種ツツジ園をはじめ、シャクヤク園、サクラ園、アジサイ園、鑑賞大温室など、花を身近に観賞できる施設がいっぱいです。

【休館日】年中無休

問い合わせ先：はままつフラワーパーク ☎053-487-0511

34 フルーツパークの果物

地域：北区



はままつフルーツパークは、世界のフルーツをテーマにした「四季香るフルーツワールド」です。総面積43万㎡、東京ドーム9個分の広大な敷地に、果樹園、栽培温室、トロピカルドームなどが建てられ、160種4,300本の様々なフルーツを四季を通じて楽しめます。

【休館日】 年中無休

問い合わせ先：はままつフルーツパーク ☎053-428-5211

35 凧作りの竹のかおり

地域：市内全域



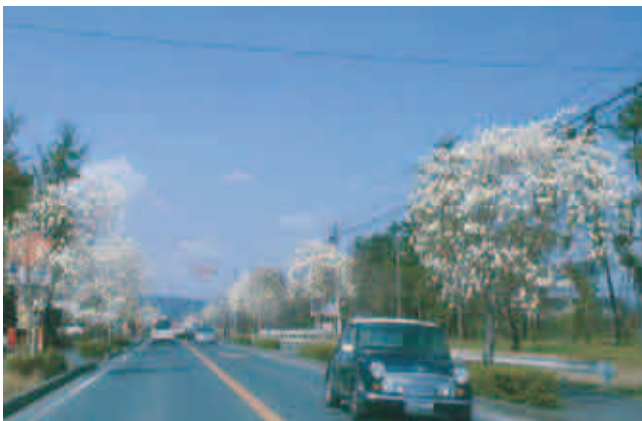
遠州の空っ風と呼ばれる強風が吹く浜松は、気候的にも凧揚げに好条件であり、古くから凧揚げの歴史があります。浜松凧は複雑かつ芸術的な骨組みと、天高く揚がってもハッキリと分かる、各町が工夫を凝らしたデザインが特長です。凧作り職人の作業場では、みずみずしい竹のかおりがあふれ、まつりへの期待がいやがうえにも高まります。

時期：4月

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

36 都田道のモクレン

地域：北区



都田道（市道萩丘都田線）の沿道には、街路樹として約8kmにわたってハクモクレンが植えられています。春先、沿道一帯は見事な眺めとなり、かおり立つような清々しい雰囲気になります。都田道はいつしか「モクレン通り」と呼ばれるようになりました。

時期：3月～4月

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

37 庄内半島の花とガーデンパーク

地域：西区



庄内半島では、浜名湖周辺の温暖な気候を活かした花き栽培が大変盛んです。収穫時のビニールハウス内からは花のかおりが漂ってきます。

その中で浜名湖ガーデンパークは、2004年の「浜名湖花博」開催後、緑豊かな都市公園として整備され、湖畔の美しい自然と開放感あふれる景観で、憩いの場となっています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜名湖ガーデンパーク ☎053-488-1500

38 JAとびあ浜松浜北営農緑花木センター 地域：浜北区



庭園木、盆栽、観葉植物等をはじめ、庭園用資材など3千種類、31万本の植木を展示、販売している、みどりのデパート。一年をとおして四季折々の美しい花木がかおり、手にとって選ぶことができます。また、毎年、春と秋には「植木まつり」が開催され、多くの人で賑わいます。

【休業日】年中無休（1月1日を除く）

問い合わせ先：浜北営農緑花木センター ☎053-587-8728

39 北浜の大カヤノキ 地域：浜北区



イチイ科の常緑針葉樹であるカヤノキは、庭木や公園樹として植えられることが多く、材は高級基盤や建築、彫刻などに用いられ、かぐわしい清浄なかおりがします。本沢合（ほんざわい）にある北浜の大カヤノキは、高さおよそ23m、目の高さでの幹回りがおおよそ5.4mで、日本有数の大きさを誇り、国の天然記念物に指定されています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜北区・区振興課 ☎053-586-6201

40 二侯城址（ふたまたじょうし） 地域：天竜区



城山公園内にある二侯城址は、戦国時代に争奪が繰り返された要衝の地で、天正7年（1579年）に徳川家康の長男、松平三郎信康が自刃したという悲劇が伝えられています。現在は、高さ4.6mの天守台の石垣や土塁が残されており、激動の時代に翻弄された人々に、思いをはせながら周辺を散策することができます。戦国武将の吐息を感じる空間です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：天竜区・区振興課 ☎053-922-3300

41 舞阪混ぜのりのかおり 地域：西区



浜名湖ののり養殖は、支柱竹を打ち、そこへのり網を縛り、潮の満ち引きを利用して海中へ浸けたり干したりして行ないます。

冬の浜名湖で育まれたのりは、かおり高いのが特徴です。特に、浜名湖特産の青のりと黒のりを混ぜた「混ぜのり」は、磯のかおりが豊かで人気があります。

時期：冬

問い合わせ先：浜名漁業協同組合 ☎053-592-2911

42 舞坂宿脇本陣

地域：西区



今切渡しの渡船場として栄えた舞坂宿の脇本陣を復元したもの。その遺構は旧東海道では唯一のもので、木造の本陣からの木のかおりとともに歴史のかおりが感じられます。



【休館日】月曜（祝日の場合は翌日）

問い合わせ先：舞坂宿脇本陣 ☎053-596-3715

43 釜揚げしらすのかおり

地域：西区



遠州灘は、イワシの稚魚シラスの全国有数の漁場です。春から秋にかけては、舞阪漁港で水揚げされ加工されたシラスのかおりがまちに漂います。



時期：春～秋

問い合わせ先：浜名漁業協同組合 ☎053-592-2911

44 六間川(ろっけんがわ)の早咲き桜

地域：西区



六間川の堤防には早咲きの桜並木が1km程続き、冬から春への季節の移り変わりを桜のかおりとともに私たちにいち早く伝えてくれます。



時期：3月～4月

問い合わせ先：雄踏地域自治センター地域振興課 ☎053-597-1200

45 中村家住宅

地域：西区



貞享5年（1688年）の建築とされている武家屋敷です。約3,000㎡の敷地内にある寄棟造萱葺（よせむねづくりかやぶき）の平屋建てで、主屋は国の指定重要文化財です。徳川家康の側室お万の方が家康の第二子である結城秀康をここで出産したといわれています。その胞衣（えな）を埋めた胞衣塚も現存し、塚上には徳川家康が植えたといわれる梅の木があり、春先には、ほのかなかおりが漂います。

【開館日】金・土・日曜日・祝日（年末年始は休館）

問い合わせ先：文化財中村家 ☎053-596-5585

46 気賀関所(きがせきしよ)

地域：北区



慶長6年(1601年)に徳川家康の命により設置されたという気賀関所は姫街道の重要な位置にあり、婦人の通行と当時最も恐れられていた武器である鉄砲の移動を厳しく取り調べました。復元された冠木門(かぶきもん)、本番所等では、通行人の監視にあたる往時の様子が伺え、歴史のかおりが漂っています。

【休館日】年中無休

問い合わせ先：気賀関所(きがせきしよ) ☎053-523-2855

47 長楽寺の満天星(ドウダンツツジ)の庭園と梅のトンネル

地域：北区



長楽寺は、平安時代初期の大同年間(約1,200年前)に創建された古刹です。小堀遠州(こぼりえんしゅう)作、回遊式の庭には、200余株のドウダンツツジが植え込まれ、四季折々に表情を変え一年をとおして楽しめます。また、3月には、梅のトンネルからほのかな甘いかおりが漂ってきます。庭園は、県の指定名勝に選ばれています。

【休館日】年中無休

問い合わせ先：長楽寺(ちょうらくじ) ☎053-522-0478

48 渋川つつじ

地域：北区



蛇紋岩(じゃもんがん)地帯に群生する渋川つつじは、葉が常に3枚ずつ輪生し、紅紫色の花も3輪ずつ開花します。背丈は6mほどに達し、渋川の群落は県の天然記念物に指定されています。新緑から青葉に移り変わる5月中旬から6月上旬にかけて可憐な花が咲き、そのかおりは、公園を訪れる人を和ませてくれます。

時期：5月～6月

問い合わせ先：引佐地域自治センター地域振興課 ☎053-542-1111

49 みかんの花

地域：北区



三ヶ日みかんは、全国的に有名です。みかん畑が多く、みかんの花が咲く5月中旬ごろには、どこからともなく、さわやかなみかんの花のかおりが漂います。



時期：5月

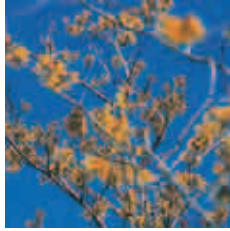
問い合わせ先：三ヶ日地域自治センター地域振興課 ☎053-524-1111

50 マンサクと三ヶ日桜の咲く里 乎那(おな)の峯

地域：北区



2月になると奥浜名湖に春の訪れを告げる黄色い可憐な花マンサクが咲き、その後を追うかのように三ヶ日桜が咲き誇ります。ほかにも乎那の峯には多くの植物が自生しており、豊富な自然を満喫できます。



時期：2月～4月

問い合わせ先：

三ヶ日地域自治センター地域振興課 ☎053-524-1111

51 三ヶ日人只木(ただき)遺跡

地域：北区



三ヶ日地域は、水辺となだらかな丘陵に囲まれ、温暖な気候と浜名湖がもたらす自然の恵みの中で、遠い昔から人類が発展し続けてきました。その証を三ヶ日人只木遺跡で見ることができます。旧石器時代の存在を確認した貴重な遺跡にロマンのかがおりが漂います。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

三ヶ日地域自治センター地域振興課 ☎053-524-1111

52 京丸(きょうまる)のツツジの群落

地域：天竜区



京丸の岩岳山(いわたけさん)山頂付近一帯には、ミヤマツツジが群生しています。平家の落人の里といわれる秘境、京丸の谷にはアカヤシオツツジ、シロヤシオツツジが咲き乱れ、国の天然記念物に指定されています。そのため、開花時期には春野地域一帯がピンク色に染まります。岩岳山のように樹齢数百年の古木が群落をなしているのは、他に例を見ないといわれています。

時期：4月～5月

問い合わせ先：

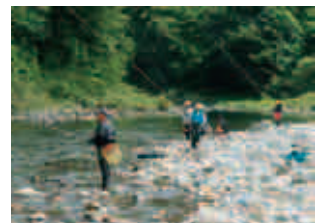
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

53 春は新緑、夏は鮎、秋はキノコ、冬は蕎麦のかおり

地域：天竜区



深い霧、輝く川面、紅葉そして粉雪が舞う佐久間の山里に暮らす人々の生活文化と四季折々のかがおりが都会の人々を誘い、都市と山村を結ぶ架け橋となっています。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：

佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

54 佐久間民俗文化伝承館

地域：天竜区



江戸時代末期の建物を移築したもので、昔の催事の飾りなどが展示されています。囲炉裏や民具に囲まれた座敷で佐久間地域に伝わる民話の語りを聞きながら、郷土料理の地そばなども楽しめます。



【営業日】土曜、日曜、祝日

問い合わせ先：佐久間民俗文化伝承館 ☎053-987-1888

55 高根城

地域：天竜区



高根城跡は、水窪町の久頭合(くずごう)の山頂、標高420mにあり、南北朝時代、後醍醐天皇の孫の親王を守るために、応永21年(1414年)に奥山氏が築いたとされる山城です。三方ヶ原の合戦の時には、武田軍の拠点となったといわれ、現在では、城門などが復元されています。山頂からふもとを見下ろすと、吹き抜ける風とともに歴史の足音が聞こえてくるようです。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

56 新茶の香り

地域：天竜区



北遠一帯は、風薫る5月の新茶シーズンには、お茶の香りに包まれます。

赤石山脈から湧き出る水と天竜川から立ち上がる川霧など、様々な自然の恵みによって育成されるお茶は、この地域特有の豊かな味と香りを育みます。市内のお茶農家では、これらの特性を大切にするとともに、有機栽培などの農法によって、より安全で安心な茶生産に取り組んでいます。

時期：5月

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0030

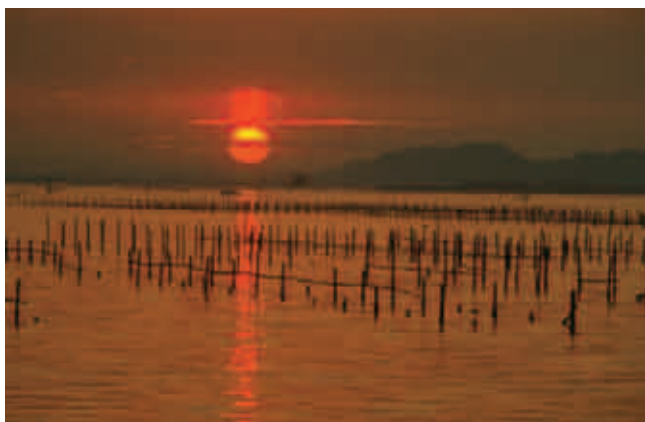




57 浜名湖の湖岸から望む夕日

(村櫛・館山寺、
細江「みをつくし」、
三ヶ日「瀬戸のつり橋」)

地域：西区
北区



村櫛半島西岸や館山寺周辺からは、浜名湖や湖西連峰の向こうへ沈む夕日を望むことができます。湖面のさざなみが夕日にきらめき、夕焼けが湖面を照らして一番星が輝き始めるまでの時間は、浜名湖が一日で最も美しい色に染まる贅沢な時間です。

万葉集にも詠まれている細江の「みをつくし」は、浜名湖に陽が沈むそのひと時、夕日に映えた姿が、万葉の昔を偲ばせます。

また、夕日に映し出される浜名湖瀬戸のつり橋は、周辺の自然と調和し、絶妙な景観を醸し出します。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

58 夜空に浮かぶアクトシティ

地域：中区



浜松駅に隣接するアクトタワーは、地上45階、212.8mと東海地方屈指の高さを誇り、ホテル、レストラン、ショッピングモールなどで構成され、浜松のシンボルとして、また、ランドマークとしてそびえ立っています。夜空に浮かぶアクトシティの美しさは格別で、市街地からはもちろん、遠く離れた滝沢展望台などから望むその姿も大変印象的です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：アクトシティ浜松 ☎053-451-1111

59 街角を照らす冬の蛍

地域：中区



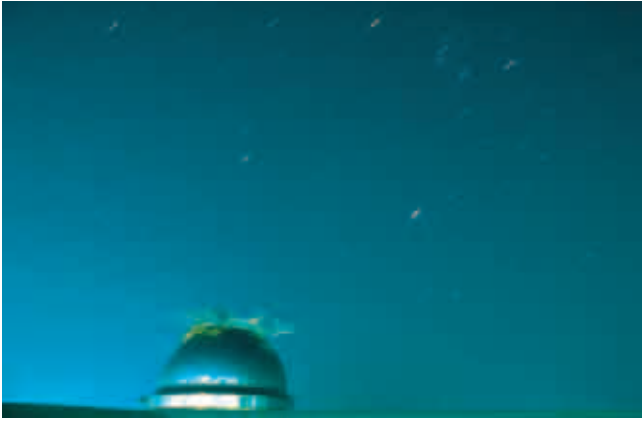
冬季には、中心市街地の活性化を目的とした市民・企業・行政の協働による市民参加型の大規模集客イベント「はままつ冬の蛍フェスタ」が開催されます。会場の中心市街地は、JR浜松駅北口前のギャラリーモールに設置されるシンボルツリーをはじめとした様々なイルミネーション等の「光」で幻想的に彩られます。

時期：11月～1月

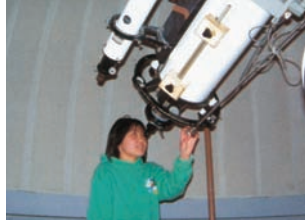
問い合わせ先：浜松市都心政策課 ☎053-457-2095

60 天文台から見る星

地域：南区



浜松市天文台は、市民が宇宙の神秘を身近に体験できる施設として、五島公民館に併設された公開天文台です。月や惑星、星雲星団など、大型屈折望遠鏡による迫力ある天体の姿は必見です。



【休台日】月曜・祝日・年末年始

問い合わせ先：浜松市天文台 ☎053-425-9158

61 光産業の礎「イ」の石碑

地域：中区



浜松高等工業学校の助教授だった高柳健次郎氏が、1926年、世界で初めて電子式テレビジョンの開発に成功しました。歴史が動いたその一瞬を記念するため、最初にブラウン管に映し出した文字「イ」の記念碑がNHK浜松支局と西部公民館に建立されています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：NHK浜松支局 ☎053-472-1171
浜松市立西部公民館 ☎053-452-0734

62 篠原町の火渡り

地域：西区



篠原町の保泉寺（ほうせんじ）において、毎年1月18日、遠州・三河・信州の各地から修行者が集まって火伏せの行が行なわれます。ほら貝が鳴り響き、立ち上る炎の中、白装束の修験者を筆頭に、参加者が次々と護摩壇（ごまだん）を渡って一年の願をかけます。厳かな中にも勇壮なその光景は、正月を飾る行事として近隣の人々に親しまれています。

時期：1月18日

問い合わせ先：保泉寺（ほうせんじ） ☎053-448-3733

63 秋葉灯籠（あきはどうろう）

地域：中区・北区
浜北区・天竜区



市内各地に残っている秋葉山信仰の灯籠で二俣街道沿いに多く見ることができます。多い地区では辻ごと、社ごとに設置され、工夫を凝らしたデザインは風情にあふれるのみならず、貴重な歴史文化遺産です。近年では、火を灯されることはまれになりましたが、防火への願いが込められた秋葉灯籠は、今日も地域を見守っています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

64 浜名湖 湖面の輝き

(館山寺大草山、 地域：西区
姫街道いなさ峠) 北区



館山寺温泉街からロープウェイで登る大草山からは、浜名湖が一望できます。風になびくさざ波、マリンスポーツ、漁船が描く航跡が、降り注ぐ光を浴びて美しく輝きます。

また、姫街道いなさ峠付近からの浜名湖（引佐細江湖）の眺望は、大変素晴らしく箱庭のようです。朝日、夕日に輝く湖面に心を洗われる思いがします。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

大草山（かんざんじロープウェイ） ☎053-487-2121

65 水辺に映る蛍の光

(天竜「蛍の里」、細江「天池(あまいけ)自然公園」、 地域：北区
春野「藤ノ瀬ホタル公園」、龍山「ふるさと村」、
引佐町田沢) 天竜区



西阿多古川沿いの「蛍の里」や細江の「天池(あまいけ)自然公園」、春野の「藤ノ瀬ホタル公園」、龍山の森林レクリエーション施設「ふるさと村」周辺の川岸などでは、初夏には多くの蛍が飛び交い、夜のひとときを幻想的な世界へと導いてくれます。

また、引佐町田沢は、蛍の町として知られ、学校をはじめ、地域住民が協力し合って蛍を育てています。

時期：5月～6月

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0033
北区・産業振興課 ☎053-523-1113
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001
龍山ふるさと村 ☎053-969-0133

66 鳥羽山公園の桜

地域：天竜区



天竜奥三河国定公園にあり、桜の名所として知られる市民の憩いの場「鳥羽山公園」では、開花した桜の輝きが山一面をピンク色に染め、訪れる人々の目を楽しませてくれます。ここ天竜に春の訪れを知らせる風物詩になっています。また、公園は、戦国時代に徳川家康が本陣を構えて武田方と戦った城跡で、山全体に人の手が加えられた跡が残っています。

時期：4月

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0033

67 大栗安(おおぐりやす)の棚田

地域：天竜区



中山間の傾斜地を利用して段々に作られた水田の景色は、数少なくなった田園風景です。ここ大栗安の棚田は、平成11年度に「日本の棚田百選」にも選ばれています。水田にさんさんと降り注ぐ太陽の光はまぶしく、初夏には蛍が飛び交い、秋には黄金色に染まった稲穂が一面に広がる絶景に巡り会えます。

時期：春～秋

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0030

68 弁天島浮見堂(うきみどう)

地域：西区



乙女園の西側に作られた
たきや船とあずまが浮見
堂と名付けられ、市民の
休息の場として親しまれ
ています。特に、茜色に
染まる夕景はとても口マ
ンチックです。



時期：一年をとおして

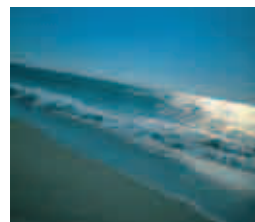
問い合わせ先：
舞阪地域自治センター地域振興課 ☎053-592-2111

69 舞阪灯台のあかり

地域：西区



遠州灘を航行する船舶の安
全を守る灯台の光。松林の中
にある白い舞阪灯台は、1964
年に竣工されました。光達距
離は約30kmあり、沿岸灯台と
して、重要な役割を果たしてい
ます。また、展望
台からは、太平洋を一望するこ
とができます。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：
舞阪地域自治センター地域振興課 ☎053-592-2111

70 たきや船の松明(たいまつ)のあかり

地域：西区



たきや漁は、浜名湖の向こうに夕日が沈み、夜
が訪れるころ、小舟の舳先に松明のあかり（現在
は水中灯）をともし、その光の中に浮かんでくる
エビ、カニ、タイなどの魚を網やモリで突いて捕
らえる伝統的な漁です。素朴な、そしてスリルに
富んだ漁は、観る者を幻想的な世界へ誘います。

時期：4月～10月

問い合わせ先：浜名漁業協同組合
たきや組合遊船部 ☎053-592-2260

71 姫様道中

地域：北区



毎年、4月第1週の土曜日と日曜日に開催される
姫様道中は、桜が舞い散るなか、江戸時代の姫街
道の往時を絢爛豪華(けんらんごうか)に再現して
います。春の木漏れ日の中をお姫様を中心に百数
十人が繰り広げる歴史絵巻は、奥浜名湖に春を告
げる代表的な行事となっています。

時期：4月

問い合わせ先：浜松市姫様道中実行委員会 ☎053-523-0713

72 方広寺(ほうこうじ)参道の木漏れ日

地域：北区



方広寺奥山半僧坊は、建徳2年(1371年)に後醍醐天皇の皇子によって開創された名刹です。

方広寺の境内は静寂に包まれ、杉の大木から洩れる光は幻想的で、本堂や三重の塔は、光のみが織り成すことができる絶妙な味わいを見せます。

また、石橋の五百羅漢(ごひゃくらかん)は表情が豊かで、見る人の心を和ませてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：方広寺(ほうこうじ) ☎053-543-0003

73 奥山公園の夜桜

地域：北区



春には奥山公園とその周辺の桜が咲き乱れ、艶やかな景観を誇ります。最盛期には公園内がライトアップされ夜桜も楽しめます。特に、公園内の池に架けられた浮き栈橋から見るライトアップされた桜は、池の反射光とあいまって大変美しく見事で一見の価値があります。

時期：4月

問い合わせ先：
引佐地域自治センター地域振興課 ☎053-542-1111

74 三ヶ日町内のイルミネーション

地域：北区



毎年年末に、三ヶ日地域の一般家庭、商店等でイルミネーションフェスタが行なわれ、町中がいろいろな色の光に飾られます。心温まる明るい光に包まれるとクリスマス気分が高まります。



時期：12月

問い合わせ先：三ヶ日町商工会 ☎053-524-1121

75 秋葉の火祭り

地域：天竜区



昔から火防信仰を集めた霊山秋葉山。太古より秋葉神社(あきはじんじゃ)と秋葉寺(しゅうようじ)が存在し、秋葉神社では、毎年12月16日の夜、弓の舞、剣の舞、火の舞などが行なわれ、秋葉寺では、同月15日と16日の両夜、火渡りの儀式が催されます。ともに、秋葉の火祭りとして賑わい、今も県内外から多くの参拝者が集まります。

時期：12月15日～16日

問い合わせ先：春野町観光協会 ☎053-983-0066

76 春埜 (はるの) 杉

地域：天竜区



行基(ぎょうき)が開山したと伝えられる春埜山(はるのやま)山頂の大光寺(だいこうじ)境内には、樹齢1,300年と伝えられる高さ44mの大杉があります。県の指定天然記念物で、杉の大木から洩れる光は幻想的です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

77 浦川歌舞伎

地域：天竜区



江戸時代の音羽屋一座の歌舞伎役者尾上栄三郎が地方巡業に出て倒れ、診療に訪れた浦川地区で最期の舞台を演じたというのが発端となり、村人による歌舞伎が演じられるようになったといわれています。それが定着して受け継がれているのが浦川歌舞伎です。地元役者の演技が光ります。

時期：9月下旬

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

78 満天の星空

(天竜の森公園、水窪カモシカと森の体験館)

地域：天竜区



近年、都市化に伴って、主に街の明かりにより星が見えにくくなっています。しかし、標高1,352mの龍頭山(りゅうとうざん)にある「天竜の森公園」や標高約1,100mの家老平(かろうだいら)にある「水窪カモシカと森の体験館」などでは、今もなお美しい星空を見ることができます。満天の星空を仰ぎ見る贅沢を味わってみてはいかがでしょうか。

時期：一年をとおして(「水窪カモシカと森の体験館」は月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日及び冬季休館)

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001
水窪カモシカと森の体験館 ☎053-987-1200

79 西浦(にしうれ)田楽 御船渡しの火

地域：天竜区



旧暦の1月18日に、月の出から翌日の日の出まで、夜を徹して幻想的な仮面の舞が繰り広げられる西浦田楽は、国の指定重要無形民俗文化財に指定されています。御船渡しが行なわれ、観音堂の燈明(とうみょう)から御船に火を移し、御船が引かれて「タイ」に登り火が点じられます。この火はまさに神秘的で、見る者の心をいにしえへといざないます。

時期：旧暦1月18日

問い合わせ先：
水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

80 光に映える燃え立つ紅葉(山住(やますみ)神社~水窪ダム)

地域：天竜区



岩と粘土を積み上げた日本で数少ないロックフィル式の水窪ダム。このダム湖は、ワカサギ、コイ、ヘラブナ釣りの名所として大人気のスポットで、湖面を差す太陽によるきらめきは幻想的です。また、秋には、真っ赤に燃え立つ山が迫り、都会にはない勇壮な景観を身近に体験できます。

時期：10月～11月

問い合わせ先：

水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001



81 岩水寺(がんすいじ)の鐘の音、桜の香り

地域：浜北区



長い歴史のある真言宗の古刹(こさつ)であり、桜の名所として親しまれている岩水寺の境内に咲く100本を超えるソメイヨシノは、夜にライトアップされます。また、岩水寺は、安産子育ての寺として広く親しまれ、鐘楼でつく鐘の音は、心にしみる風情を感じます。

時期：4月(桜)・一年をとおして(鐘の音)

問い合わせ先：岩水寺(がんすいじ) ☎053-583-2741





82 浜松まつり／激練り、凧揚げの音と御殿屋台の光 地域：中区 南区



浜松の街がもっとも熱くなる「浜松まつり」は毎年5月3日から5日に開催されます。昼間の勇壮な凧揚げ合戦には160を超える町が、夜の御殿屋台の引き回しには100を超える町がそれぞれ参加し、市内は祭り一色に染まります。一年中でもっともエキサイティングな浜松に出会えます。

時期：5月3日～5日

問い合わせ先：浜松市観光コンベンション課 ☎053-457-2295

83 遠州はまきた飛竜(ひりゅう)まつり 地域：浜北区



古くは暴れ天竜と呼ばれ、天竜川の水の神である竜神(りゅうじん)にちなんで毎年6月に開催される浜北地域の大イベント。大空に勇壮な凧が舞い、飛竜太鼓の演奏やミスコンテスト、特産物の販売などが行なわれます。また、天竜川中瀬の緑地の会場では「火まつり」が行なわれ、フィナーレには手筒花火の火の粉が舞い、打ち上げ花火が夜空に咲いて盛り上がります。

時期：6月第1土・日曜日

問い合わせ先：飛竜まつり本部事務局 ☎053-585-1116

84 清流 阿多古(あたご)川 地域：天竜区



天竜地域の北西部を緩やかに流れ、天竜川に注ぐ清流阿多古川。夏には、釣りやキャンプ、川遊びで大変な賑わいをみせます。秋には、絶好のハイキングコースとなり、色とりどりの紅葉も楽しめます。川面はやさしいせせらぎの音を奏で、木々の彩りを映し出します。そして浅瀬は太陽の光がきらめき、淵の鮮やかな深緑色は、訪れた人々の感動を呼び起こします。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：天竜区・産業振興課 ☎053-922-0033

85 遠州天竜舟下り

地域：天竜区



本格的な春の訪れとともに「遠州天竜舟下り」が天竜川に賑わいを呼び込みます。舟下りは、雄大な天竜川の流れに乗り、米沢(みなざわ)から阿蔵(あくら)までの6kmを約50分かけてゆったりと下る爽快な舟の旅です。大河を下る水の音と櫂のきしむ音、そして木々の緑と水面の輝きが心を洗い、雑踏から開放された清々しいひとときを過ごすことができます。

時期：3月下旬～11月（河川の状態により運休有）

問い合わせ先：天竜浜名湖鉄道(株)営業課 ☎053-926-2111

86 祇園祭り／細江の夏の風物詩

地域：北区



毎年7月第3週の土曜日と日曜日は、細江地域の夏を彩る「祇園祭り」が賑やかに行なわれます。鳴り響く笛太鼓のお囃子、妖しげにも美しく輝く提灯のあかりなど、情緒あふれるシーンが、そこかしこに繰り広げられます。



時期：7月

問い合わせ先：細江町商工会 ☎053-523-0713

87 竜ヶ岩洞(りゅうがしどう)の黄金の大滝

地域：北区



2億5千万年前の石灰岩地帯に形成された総延長1,000mを超える鍾乳洞で（一般公開は400m）、落差30mの地底滝は国内最大級。洞内に響きわたる滝の音と黄金色に輝く水しぶきは、太古から続く地球の鼓動を感じさせます。また、洞内の気温は、年間約18度と平均しているので、夏は涼しく冬は暖かく、快適な地底を探訪することができます。

【休館日】年中無休

問い合わせ先：竜ヶ岩洞(りゅうがしどう) ☎053-543-0108

88 横尾歌舞伎

地域：北区



200年以上の歴史を誇り、県の指定無形民俗文化財に指定されている農村歌舞伎。10月の定期公演では、きらびやかな衣装に包まれた舞台に義太夫、三味線の音や役者への掛け声、おひねりが入り混じり、農村歌舞伎ならではの風情をかもしています。

時期：10月

問い合わせ先：引佐地域自治センター地域振興課 ☎053-542-1111

89 川名ひよんどり

地域：北区



500年以上も前から伝承されている国の指定重要無形民俗文化財。毎年1月4日に引佐町川名の福満寺(ふくまんじ)薬師堂「八日堂(ようかどう)」で行なわれています。堂入り口での水垢離(みずごり)を終えた若者と、赤々と燃え盛る大松明をかざした松明奉納者とのみみ合いは勇壮です。堂内では、10種の舞が奉納され、笛や太鼓の音が冷気漂う集落に響きわたります。

時期：1月4日

問い合わせ先：引佐地域自治センター地域振興課 ☎053-542-1111

90 寺野ひよんどり

地域：北区



神楽・田楽系の民俗芸能で、500年以上前から伝承されている国の指定重要無形民俗文化財。毎年1月3日に引佐町渋川の宝蔵寺(ほうぞうじ)観音堂「三日堂(みっかどう)」で行なわれ、豊作を祈願します。なかでも松明(たいまつ)の炎を鬼が打ちたたき「鬼の舞」は勇壮です。裸電球のともる堂内から、笛や太鼓が静かな山里に響きわたります。

時期：1月3日

問い合わせ先：引佐地域自治センター地域振興課 ☎053-542-1111

91 花火の音と光(弁天島、館山寺、鹿島、三ヶ日、佐久間)

地域：西区・北区・天竜区



市内各地では、花火シーズンの先頭をきって弁天島花火大会を皮きりに、館山寺、鹿島、三ヶ日、佐久間など、各々の地域を代表する花火大会が盛大に開催され、夏の風物詩になっています。

これらの花火大会では、美しい花火の輝きを満喫できるだけでなく、いずれの地域においても独特の響きがあり、天地をゆるがす迫力を全身で体感できます。

時期：7月～8月

問い合わせ先：舞阪町観光協会 ☎053-592-0757
館山寺温泉観光協会 ☎053-487-0152
天竜観光協会 ☎053-925-5845
三ヶ日町観光協会 ☎053-524-1124
佐久間観光協会 ☎053-965-1651





92 浜松城公園/桜、松韻亭(しょういんてい)の抹茶のかわりと浜松城のライトアップ

地域：中区



浜松城公園は、徳川家康ゆかりの名城、浜松城の天守閣を中心に整備された緑あふれる都会のオアシスです。春になると公園全体が桜に包まれ、かぐわしいかわりの中、大勢の花見客で賑わいます。また、公園の一角には茶室「松韻亭」が開席され、気軽に訪れ、お茶を楽しむことができます。

時期：一年をとおして
 (「松韻亭」は月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日及び年末年始休館)

問い合わせ先：浜松市南部公園管理事務所 ☎053-473-1829
 茶室「松韻亭」 ☎053-473-4310

93 県立森林公園

地域：浜北区



215haの県立森林公園は、長さ150mの吊橋「空の散歩道」、宿泊・研修施設「森の家」をはじめ、キャンプ場、親水広場、遊歩道などの様々な施設を備えた自然公園です。天然のアカマツ林を主体とした豊かな自然に恵まれ、四季折々の移り変わりを楽しませてくれます。また、「バードピア浜北」では、園内の自然情報を知ることができます。

時期：一年をとおして
 (「バードピア浜北」は水曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始休館)

問い合わせ先：県立森林公園 ☎053-583-0443

94 浜北万葉の森公園

地域：浜北区



約300種類もの万葉植物が取り囲む静寂とやすらぎに満ちた公園。園内には、万葉歌や万葉びとの暮らしに関する資料を展示する「万葉資料館」や万葉時代の食事を体験できる「万葉亭」などの施設があり、当時の文化や文学に親しむことができます。また、万葉集には、浜北ゆかりの歌が4首詠まれています。

時期：公園は常時開園
 (園内施設は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始休館)

問い合わせ先：浜北万葉の森公園 ☎053-586-8700

95 秋野不矩(あきのふく)美術館 地域：天竜区



浜松市名誉市民で文化勲章受章日本画家・秋野不矩の作品を収集展示する美術館です。建物の外壁とホールの柱には地元の天竜杉を、内壁には、わら入り漆喰(しっくい)を使うなど自然素材をふんだんに取り入れた美術館として知られています。館内に入ると、ホールには杉柱のかおりが漂い、時間とともに表情を変える自然光の中で、絵を鑑賞することができます。

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替え等期間

問い合わせ先：秋野不矩美術館 ☎053-922-0315

96 都田川堤防の桜並木 地域：北区



都田川に架かる曳船橋周辺の堤防には、およそ1 kmに約300本のソメイヨシノが咲き誇り、多くの市民がここを訪れ、穏やかな春のひと時を満喫していきます。また、夜にはライトアップされ、夜景に映し出される桜と、そのほのかなかおりが心地よく心身を癒してくれます。

時期：4月

問い合わせ先：北区・産業振興課 ☎053-523-2905

97 細江中川地域の田園風景 地域：北区



初夏には、まばゆい日差しの中、緑の風が大きな波となり田園を走っていきます。秋には、黄金色に輝く稲穂が実りの喜びをうたいます。まさに稲作文化の代表的な景色であり、いにしえのかおりがここに 있습니다。この地を訪れると、四季の移ろいとともに表情を変える風景に出会うことができます。

時期：5月～10月

問い合わせ先：北区・産業振興課 ☎053-523-2905





98 遠州灘

海鳴り(波小僧)、ウミガメのはう音、潮のかおり、朝日、夕日、水面の輝き

地域：西区
南区



「遠州灘」とは、御前崎から伊良湖岬までの約110kmの海岸とその沖合いの海域を指します。このうち浜松市にあたる部分は、中田島砂丘を中心として美しく広大な砂浜が広がっています。一帯では、海の声、潮のかおり、風紋や海面の輝きなど、さまざまな音・かおり・光が私たちを楽しませてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

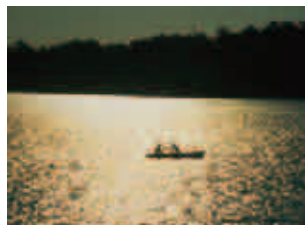
99 佐鳴湖

葦(よし)がこすれる音、鳥の声、花、木のかおり、夕日、水面の輝き

地域：中区
西区



佐鳴湖は、中心市街地からわずか4kmのところにある湖です。湖岸には公園が整備されて、市民の憩いの場であるとともに、周辺を囲む森にはさまざまな動植物が生育・生息しており、都市部に残る貴重な自然でもあります。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

100 天竜美林

地域：天竜区



天を突き刺すように「きりっ」と、そして「まっすぐ」に伸びる天竜美林は、大自然の中に溶け込んだ人間の作り出した美の象徴です。美林はただただ凜々しく、通り抜ける風は、命の息吹のかおりを感じさせます。また、風に揺れる木々の音はやさしく、そして木漏れ日の清々しさは我を忘れさせ、一服の清涼を与えてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：天竜森林組合 ☎053-926-2800

浜松市
音かおみ資源百選



浜松市環境部環境保全課

発行 平成20年3月

〒432-8550 浜松市中区鴨江二丁目11-2

TEL.053-453-6170

FAX.053-454-0514

E-mail:kankyoho@city.hamamatsu.shizuoka.jp